

中書省奏。蒲元圭鎮_ニ戍邊城_一。凡有_ニ急務_一。遣_レ使赴_レ朝_一。乞_フ給_ニ降海青圓牌_一・鋪馬劄子_一。奉_レ旨。可_レ與_ニ海青牌一
面・鋪馬劄子一道_一。

と見えるに據つて、この推測を確めることが出来る論じたところである。

此の如くこの牌は圓形であつて、その地質にも數種あつたことは疑無きことであるが、その名稱の由來する所は何處にあるか。抑も海青といふのは更ためていふまでもなく、俊禽海東青鶻の略稱であつて鶻の一種である。鶻は

蒙古語 Shongkar 滿洲語 Shongkon 學名 Gyrfalco に當り、朝鮮では松骨・松鶻等の字面によつてこれを寫してゐる。¹³ 鶻の一種なる白鶻は時としては通信の用にも供せられたものであつて、その證は張鷟の朝野僉載に

〔唐〕太宗養_ニ一白鶻_一。號曰_ニ將軍_一。取_レ鳥常驅_ニ至於_ニ殿前_一。然後擊殺_ス。故名_ニ落雁_一。殿上恒令_レ送_レ書_一。從_レ京至_ニ東都_一。與_ニ魏王_一仍報_ス。日往反數廻。亦陸機黃耳之徒歟。

とあるのによつても明らかである。「號して將軍と曰ふ」とは思ふに鶻即ち Shongkar, Shongkon の如きに因んでかゝる名を與へたか、もしくは「將軍」といふ字を以て、直接これらの語を寫したかに外ならぬであらう。桑原博士の説に據ると、かく鶻を通信に用ゐることは、或は塞外の風習を傳へたものであらう歟、また北宋初期に北蕃で騎乘の急使を「飛鳥使」というたこと及び、元代に特別急速を要する使者の佩帶した「海青牌」の海〔東〕青の名稱も、通信に鶻を使用した塞外の風習の名残りであるかも知れないと見えてゐる。實にこの海青牌は後にも述べるやうに、軍事急速の報道を要する際に、これをその使命に任ずる使者に與へ、特種の權利を附與した證據としたものであるから、果して塞外地方に於て鶻を通信に用ゐる風習があつたとすれば、海青牌といふ名稱の由來は極めて